



2022年8月26日

各位

会社名 三光合成株式会社
代表者 代表取締役社長 黒田健宗
(コード番号 7888)
問合せ先 取締役常務執行役員 芹川 明
(TEL 0763-52-7105)

新市場区分の上場維持基準の適合に向けた計画書

当社は、2022年5月31日時点において、プライム市場の上場維持基準に適合しない状態になりました。下記の通り、上場維持基準の適合に向けた計画書を作成しましたので、お知らせいたします。別添の「新市場区分の上場維持基準の適合に向けた計画書（補足資料）」と併せて、ご参照下さい。

記

1. 当社の上場維持基準の適合状況及び計画期間

当社の2022年5月31日時点におけるプライム市場の上場維持基準の適合状況は、以下の通りとなっております。「流通株式時価総額」については基準を充たしておりません。当社は、「流通株式時価総額」に関して、2026年5月末までに当該市場の上場維持基準を充たす様に各種取組を進めてまいります。

	株主数 (人)	流通株式数 (単位)	流通株式時価総額 (億円)	流通株式比率 (%)
当社の状況	7,179	240,350	81.52	78.3
上場維持基準	800	20,000	100	35.0
計画書に記載の項目			○	

当社の適合状況は、東京証券取引所が2022年5月31日時点で把握している当社の株式分布表等をもとに算出を行ったものです。

2. 上場維持基準の適合に向けた取組の基本方針

上場維持基準において「流通株式時価総額」が未達成でしたが、この改善については、流通株式数及び時価総額の増加が必要であります。

流通株式数の増加については、非流通株式に分類される法人保有の株式に関して、株主様との対話を通じて保有株式の縮減対応を行うことにより、流通株式比率は増加していく見込みであります。

時価総額の増加については、継続的な業績の向上及び市場評価の拡大により上昇を図っていきます。より付加価値の高い製品や金型の受注活動を積極的に行うとともに、安定した収益構造の確保と経営体質の強化を図ってまいります。

3. 中長期の取組内容

※詳細は「新市場区分の上場維持基準の適合に向けた計画書（補足資料）」をご参照下さい。

①企業価値の向上（業績の向上）

当社の主要顧客である自動車業界においては、100年に1度の大変革期と言われており、それを受けて当社においても大きなビジネスチャンスがあるものと認識しております。これを見据え、厳しい環境下においても国内外において様々な投資をしてまいりました。これらが今後の業績に寄与してくるものと考えております。また、プラスチックの成形品及び金型の製造・販売のみならず、上流の開発及び設計段階から参入することにより、これまで以上に付加価値の高い製品の受注の可能性が高まります。更には、生産体制の整備を強化し原価低減を積極的に進めていき、収益の確保に取り組んでまいります。

これらを踏まえ、当社では「8・8・10」を中長期の取組みの定量目標としております。
（売上高：800億円、営業利益：80億円、売上高営業利益率：10%）

これらの目標達成時期を2028年5月期としております。

また、経過目標として2026年5月期の売上高営業利益率8%を掲げております。

これまでの受注製品と並行して、付加価値部品の受注に向けて営業強化をしていきます。当社が営業力を強化し、受注増を目指す製品の候補としては、金型、事業のソフト化（製品設計、テックショップ）、メカトロ装置、金型部品、自動車機能部品、外装塗装等です。

2. で記載の通り、時価総額の増加については、継続的な業績の向上及び市場評価の拡大が必要であると認識しております。

2022年5月末現在の流通株式時価総額 81.52 億円は、2022年5月期の予想営業利益29億円、予想当期利益 19 億円に基づいた企業価値であり、流通株式時価総額100億円は上記の目標の営業利益80億円に向けて十分達成できる水準であり、その経過目標である2026年5月期の売上高営業利益率8%を目指す過程においても十分達成可能な水準と考えております。

また、上記「8・8・10」の中長期の目標等をお示しすることにより、市場評価の拡大を目指してまいります。株主・投資家の皆様への中長期の取組みの浸透、市場認知度向上等のIR活動を通じて、市場価格のより適正な評価を通じて時価総額の増大につなげます。

②ESG経営の取組み

ESG経営として以下の取組みを実施していきます。

プライム市場の上場に相応しいガバナンス水準の充足を通じて、健全な事業の運営、社会的に投資家から信頼される企業を目指してまいります。企業の責任として、CO₂削減、環境リサイクル等へ積極的に取り組んでまいります。ひいては市場価格のより適正な評価を通じて時価総額の増大につなげてまいります。

E. 環境

- 環境寄与につながる製品開発をお客様へ提案
 - ・自動車関連のお客様に技術提案を行い、EV化への提案を加速
- 脱炭素社会への貢献
 - ・省エネ、不良率の低減を図り、エネルギー使用の効率化
- 循環型社会の実現
 - ・プラスチック樹脂材料のリユース、リサイクルの改善
 - ・梱包材のリサイクル推進、産業廃棄物の低減

S. 社会

●共創によるイノベーション

- ・大学、研究機関、企業等との共創により、社会課題解決に向けた研究開発の継続

●ダイバーシティ

- ・従業員の多様性の尊重、安心して働ける社内環境を整備
 - －女性管理職比率の向上
 - －障がい者雇用率の政府方針値の遵守
 - －外国人実習生、社員の登用
 - －高齢者の継続雇用

G. 企業統治

●コーポレートガバナンス

- ・企業統治と経営の透明性

●コンプライアンスの徹底

- ・企業倫理と法令遵守

これらのESGの取り組みを着実に推進し、持続的な社会の実現に貢献し、企業価値を継続的に向上させてまいります。

③株主還元

当社は、株主への利益還元を経営の最重要課題の1つと考えており、今後とも効率的な経営を行いながら、株主資本利益率の向上を図る方針であります。配当につきましては、安定的な配当を継続していくと同時に、業績に応じ積極的に株主に還元していくことを基本方針としております。

また、株主還元にあたっては、株主資本利益率を意識し、流通株式時価総額の向上へつなげてまいります。

内部留保資金につきましては競争力の維持・強化や経営基盤拡充のため、設備投資や研究開発活動に充てる考えであります。

以 上



新市場区分の上場維持基準の適合に向けた計画書 (補 足 資 料)

三光合成株式会社

[東証 プライム市場 7888]

2022年8月26日



上場維持基準の適合状況及び計画期間



(1) 適合状況

2022年5月31日時点におけるプライム市場の上場維持基準への適合状況は、「流通株式時価総額」については基準を充たさず

		株主数	流通株式数	流通株式時価総額	流通株式比率
当社の状況*	2022年5月31日	7,179人	240,350単位	81.52億円	78.3%
プライム市場上場維持基準		800人	20,000単位	100億円	35.0%
2022年5月31日時点の適合状況 上場維持基準未充足の項目				✓	

* 当社の状況は、東京証券取引所が2022年5月31日時点で把握している当社の株式分布表等をもとに算出

(2) 計画期間

2026年5月期までにプライム市場の全基準の充足を目指し、流通株式時価総額向上に向けた各種取組を推進



基本方針

流通株式数の増加および時価総額の増加に向けた各施策を定め、取り組むことで、「流通株式時価総額」の向上を図り、プライム市場の上場維持基準適合を目指す

流通株式数の増加

時価総額の増加

「流通株式時価総額」の向上

- 一部の法人保有の株式に関して、株主様との対話を通じて保有株式の縮減対応を行う予定

- 継続的な業績の向上および中長期目標の達成により収益性を向上させ上昇を図る
- 中長期の目標等をお示しし、株主・投資家へ取組の浸透を通じて、より適正な市場評価を目指す



基本方針

より付加価値の高い製品や金型の積極的受注活動

安定した
収益構造
の確保

経営体質
の強化

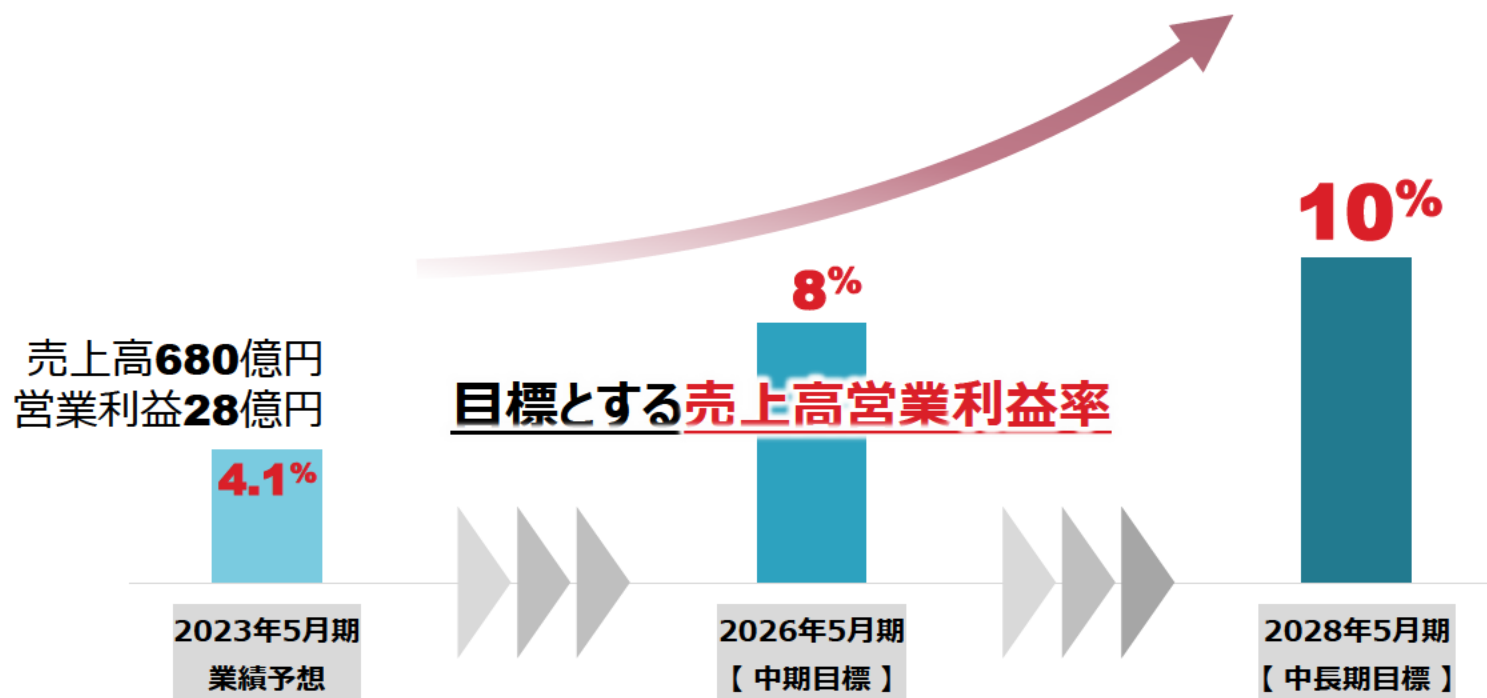
【当社の経営戦略】

製品設計・金型製作・成形・塗装・組立から省力化機器の製作まで一貫した生産体制を構築
構築した技術力とノウハウを最大限に利用し、プラスチックの利点を極限まで引き出して製品や部品に実現



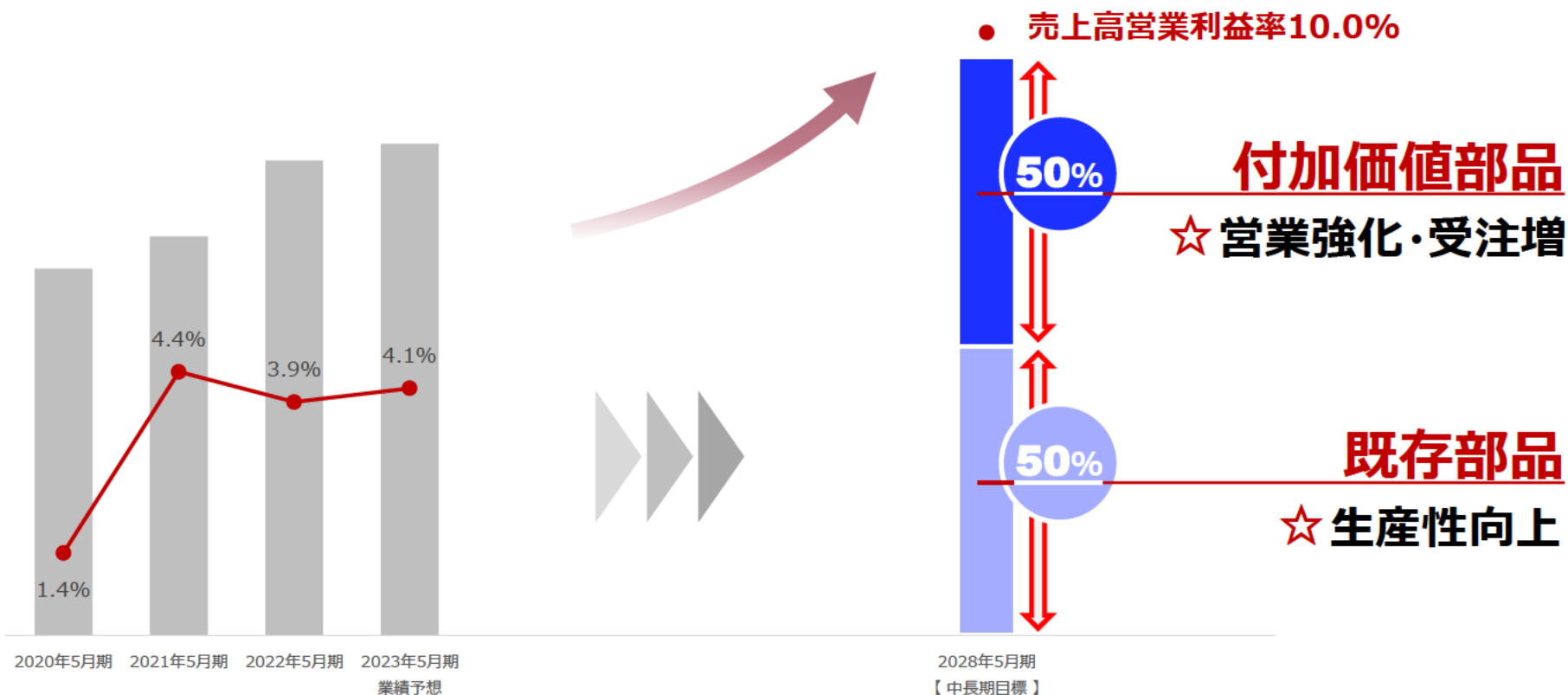
目標 ^{ハチ} **8**・^{ハチ} **8**・^{テン} **10** “8,8,and 10 Target”

売上高 **800**億円・営業利益 **80**億円・売上高営業利益率 **10%**



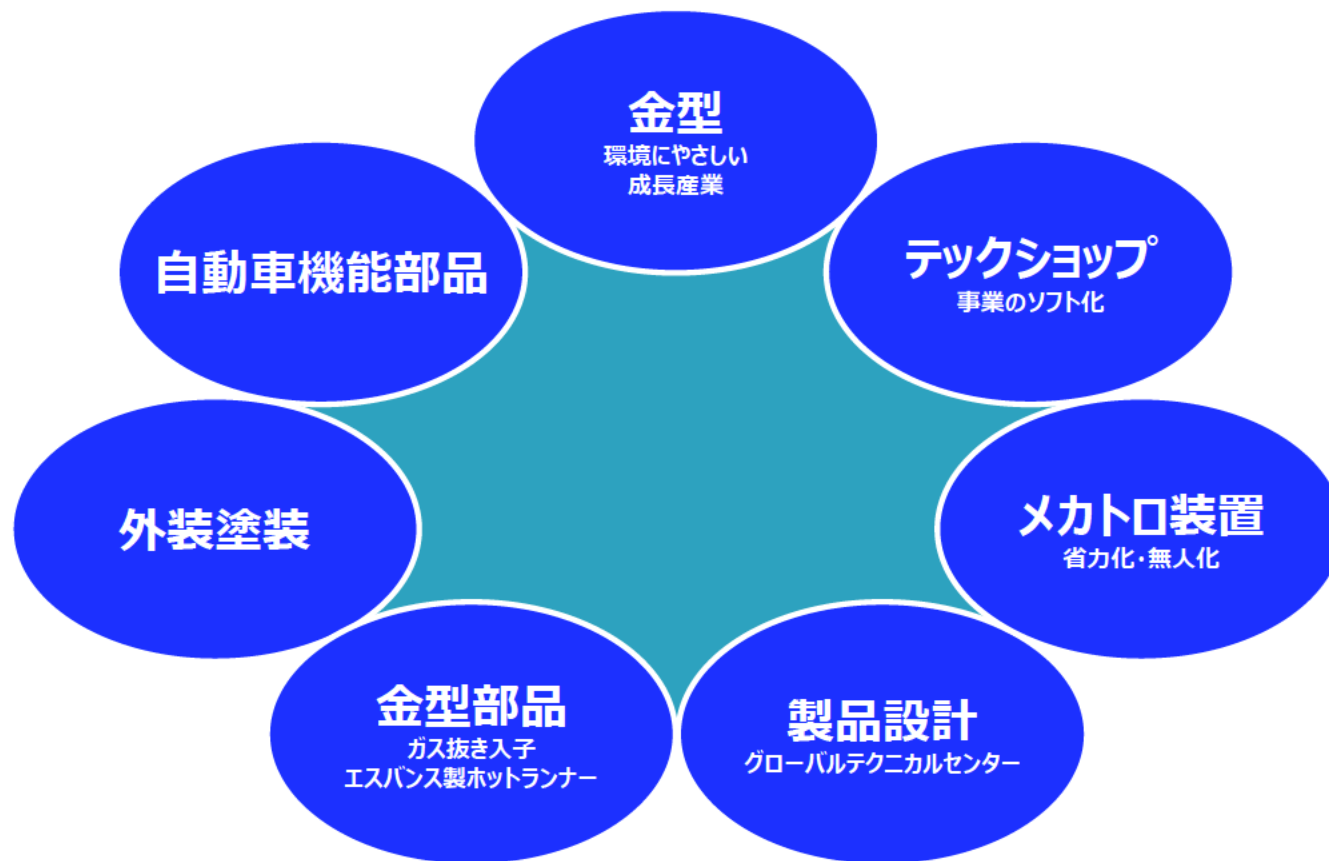


中長期目標 売上高営業利益率10%に向けて目指す売上構成



- プラスチックの成形品および金型の販売に加えて、上流の開発及び設計段階から参入することにより、これまで以上に付加価値の高い製品の受注に取り組む
- 生産体制の整備を強化し原価低減を積極的に進め、収益の確保に取り組む

営業力強化・受注増を目指す製品候補





製品や金型などの 設計事業を強化

国内外の自動車メーカー
の車両部品設計ニーズ
に対応

設計者60人 ⇒ 100人増強、
インドや東南アジア、中国、日本などで採用拡大

「テクニカルセンター」 の連携強化

「グローバルテクニカル
センター」へ

製品設計と省力化機器の推進

プラスチック100% リサイクルに向け 専門組織を新設

環境意識高い欧米
での事業拡大へ

プラスチックの廃材や不良品のリサイクル推進
によるコスト削減も図る

メカトロ（省力化 機器）部門の強化

省人化、生産性向上、
安定した品質

ケタ違いの合理化を検討し実現させていく



世界規模で次世代車へのシフトが進行

この転換期は、従来車（ガソリン・HV）と次世代車の開発が重なり、
車種の増加に加え、完成車メーカーの技術陣は、
安全機能や軽量化等の開発で
人的リソースが不足

新たな車載機能部品
（バッテリー部品等）が求められ、
しかも

軽量化（＝樹脂化）のニーズが高い

内外装樹脂部品の
製品設計は、
部品メーカーへ依存

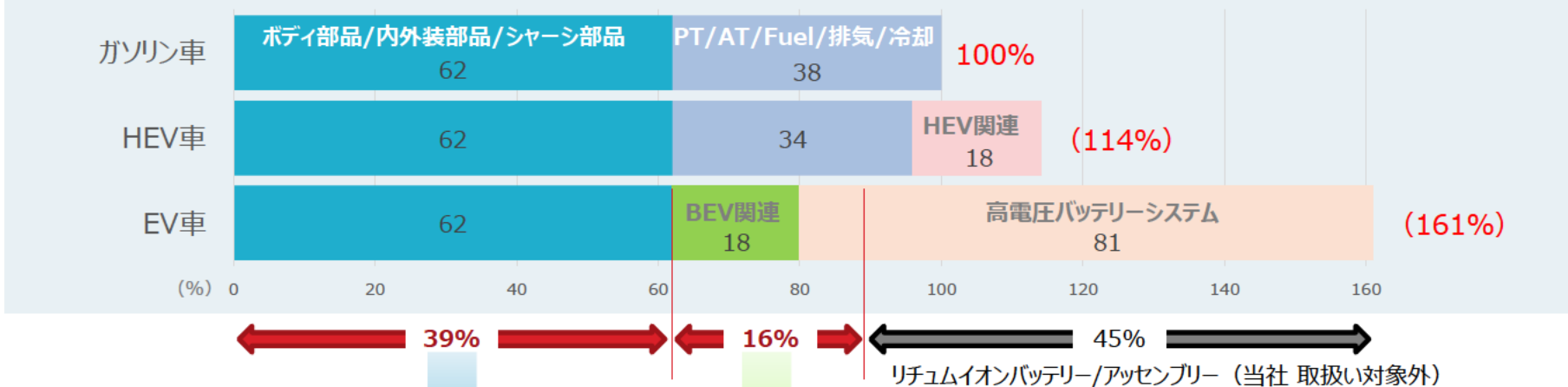
開発機種が増大で
金型の需要が高まる

- ◆ 製品設計60名を100名へ増強
- ◆ 日本・インドでの金型生産拠点は確立済み
- ◆ 次世代営業部主導でのEV部品樹脂化を提案

中長期の取組み | 次世代車（電気自動車・自動運転）への対応(2)



■ 部品構造比較



■ 当社のターゲット

創業以来の蓄積技術で対応
+
EV化の要求性能への対応

バッテリー周辺部品開発で鍛えた技術で対応 20年の実績

チャージリッド



(イメージ)

チャージリッドGRAN



高電圧系接続部品

バスバー



端子固定台



バスバーホルダー

高電圧系樹脂部品

バッテリーケースカバー



冷却ダクト

バッテリーセパレーター



ジャンクションBOX



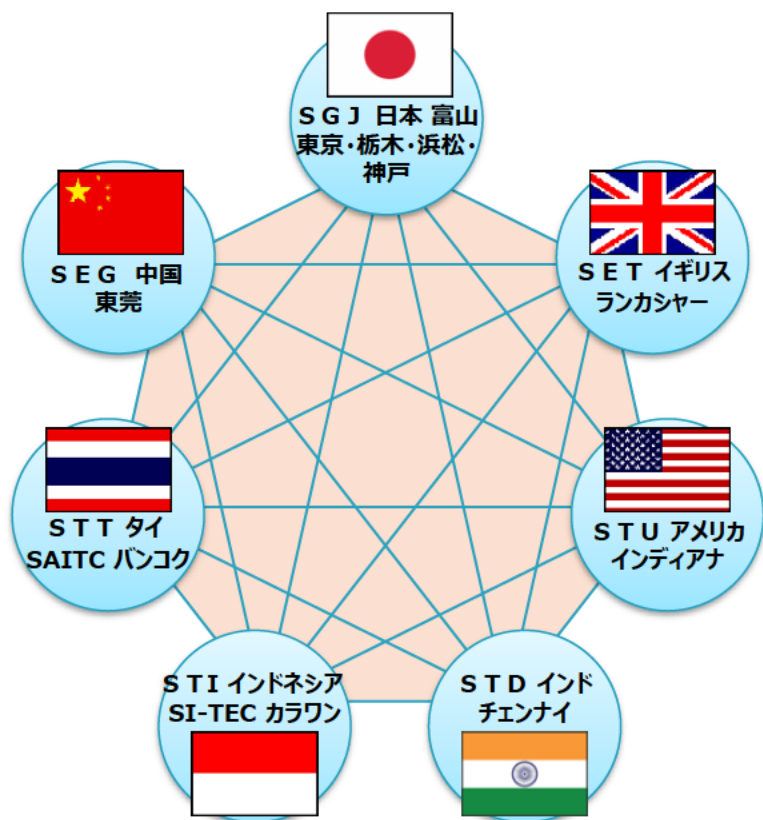
バッテリーモジュールケース



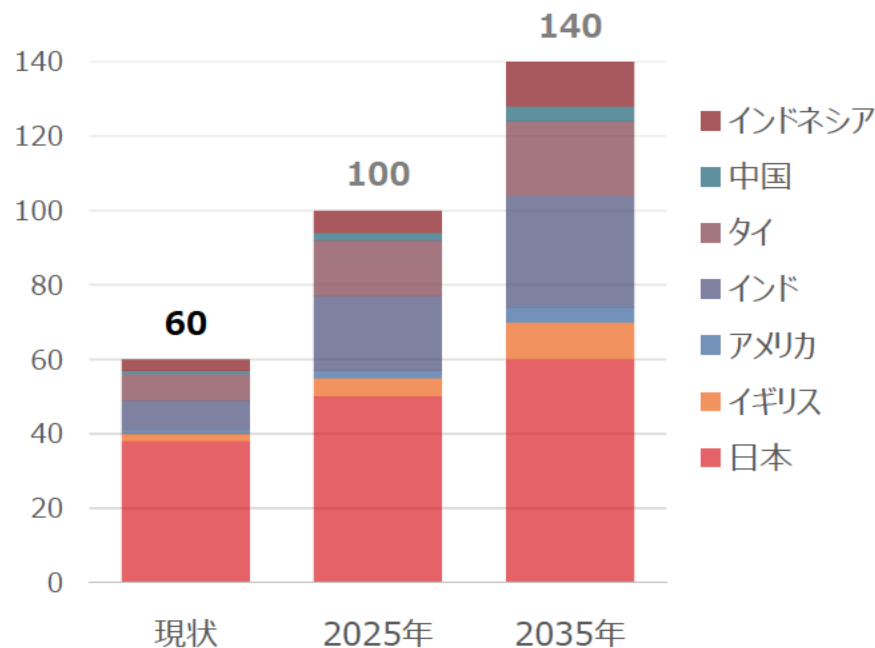
■グローバルテクニカルセンター構想|

製品設計を備えるテクニカルセンターはグローバルで7拠点

それぞれの拠点での独立性を保ち海外の拠点に対する役割を持つことでネットワークを築く

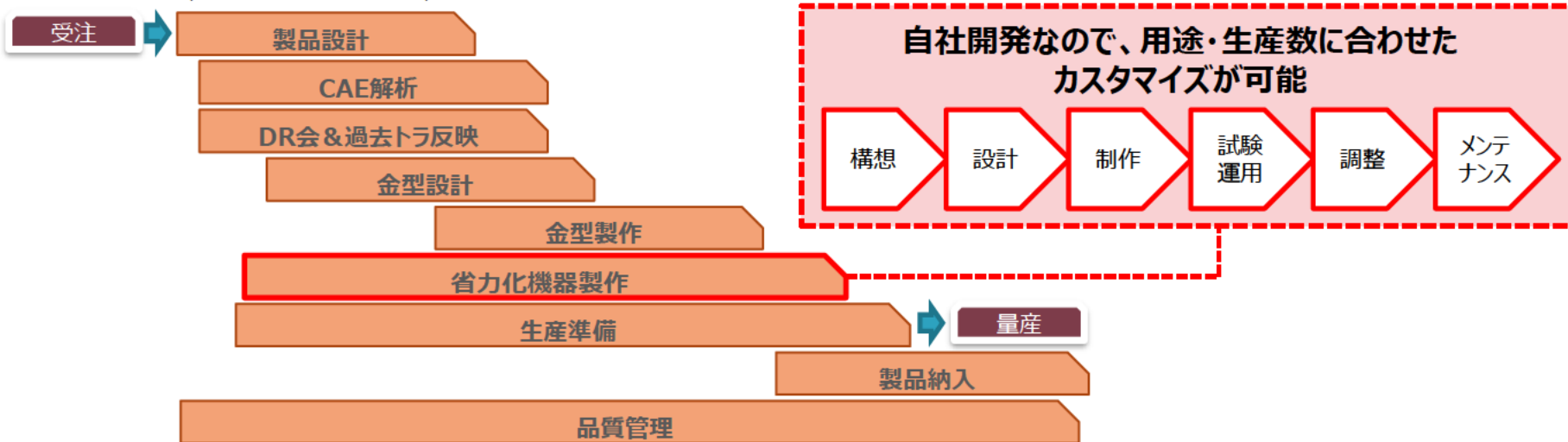


グローバル製品設計要員 現状と 2025/2035 展望
各地域で 需要と時代を読み 要員を増強していく

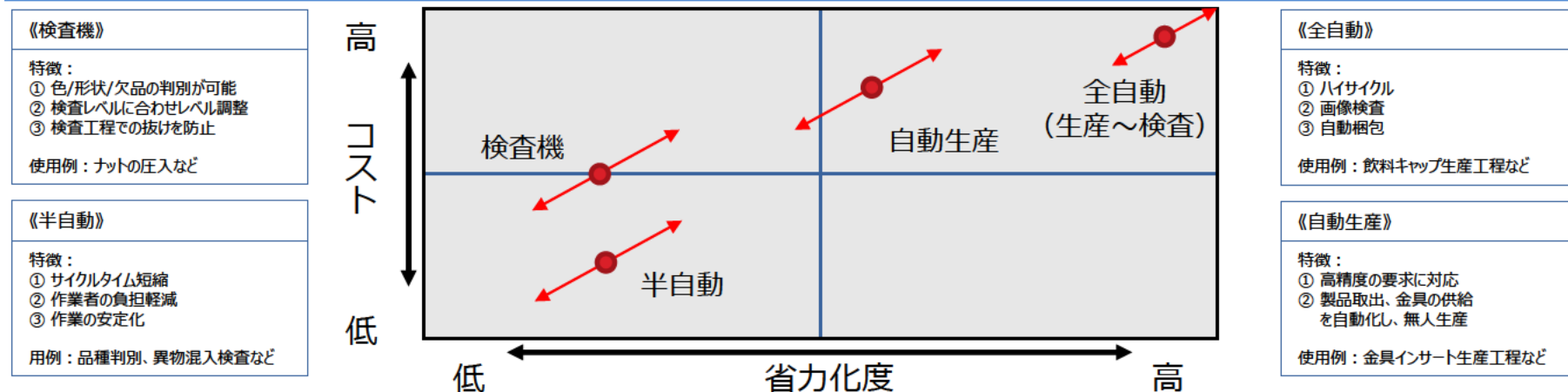




■省人化、生産性向上、安定した品質を実現



用途・生産数・予算に合わせた設備を低コストで導入可能

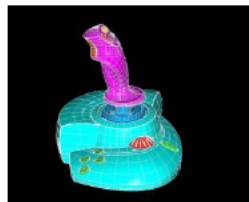




■ 自社の技術情報を公開、モノづくりのノウハウを販売する専用の技術情報サイトを開設

従来

[製品設計]
プラスチック部品が製造できるような設計にしたい



デザインデータ (客先より)



部品として製造できる図面に展開
(ものづくりノウハウを入れた設計情報)
→設計図面、モデル (販売)



<従来>
ものづくりノウハウ
は秘匿

三光合成

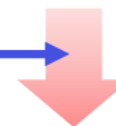


金型・成形
ノウハウ



新規

[プラスチック部品製造]
プラスチック部品を製造したい



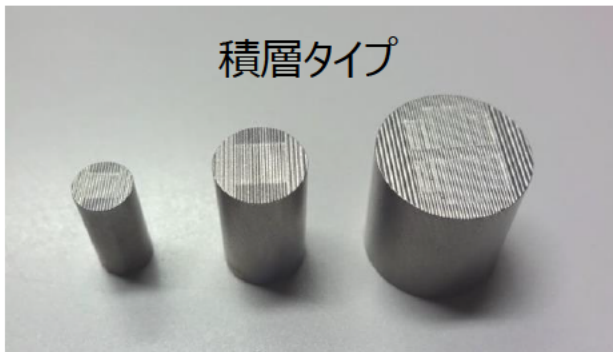
具現化ノウハウ
(販売)



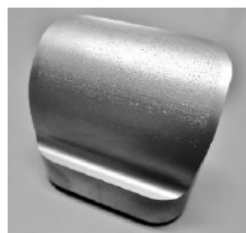
ソフト化

■ ガス抜き入り

機能：射出成型用金型に組み込み
 技術：連続成形する上で金型内に蓄積する『ガス』を飛躍的に低減させ品質を向上させる
 積層タイプ、3Dプリンター製作タイプがあり、外販も行っている



3Dプリンター製作タイプ

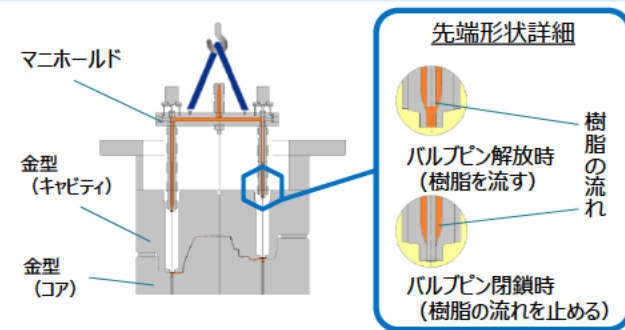


■ エスバンス製ホットランナー

バルブゲートシステム | S-VANCE VALVE GATE SYSTEM

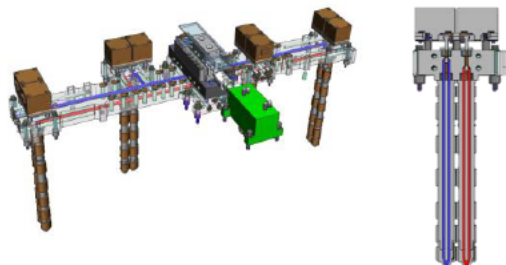
ホットランナーでゲートからの樹脂流入を調整してキャビティの充填をコントロールするために使われるシステム

スタンダード



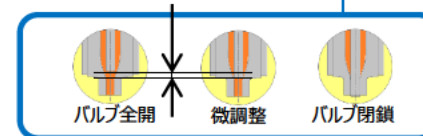
- 成形性・流動性（流動調整）の向上
- ゲートからの糸引きを解消
- シンプル設計による高い耐久性
- 一体構造による容易なメンテナンス性
- 高精度部品がもたらす安定作動性

ツイン バルブゲートシステム



- 2色 色替えに最適構造
- 廃プラの削減と色替作業工数の低減
- 一体構造による容易なメンテナンス性

モーター バルブゲートシステム







■富山県SDGs宣言

基本理念「自然との調和に努める」 | 私たちは、当社の製品が全世界で使用されているという認識のもとに、地球環境と地域社会との共生を目指し、環境保全に配慮し、改善を継続する事業活動を行います。

取組
目標

社員のモラル向上、精神面鍛錬、
そしてお客様へのおもてなしにつな
がる活動の継続

Action

全員参加のトイレ掃除

海外、国内各工場において

経営層から社員まで全員参加のトイレ清掃で

世界一綺麗なトイレを目指す。



取組
目標

プラスチック製品や樹脂材料を海や
陸に廃棄しない

Action

成形不良品のリユース

廃棄向け樹脂製品を粉砕し

再生樹脂材料として使用しリユース率を高めていく。

最終処分場までのトレーサビリティにより

ライフサイクルの視点で責任を持つ。



取組
目標

人権を尊重し、社員のダイバーシティ
を推進

Action

ダイバーシティを推進

女性、高齢者、障がい者、外国人の柔軟な雇用と

働きやすい職場環境を維持改善する。



■カーボンニュートラルに向けた取組み

- ① 日常改善による省エネを推進します。
- ② 再生可能エネルギーを活用します。
- ③ 生産技術の開発、導入による省エネを推進します。



- ④ 樹脂材料、リユース、リサイクルを推進します。
- ⑤ 不良率低減を含む廃棄物削減を目指します。
- ⑥ 工場および関連施設の緑地化を推進します。

■『女性が輝く元気企業とやま賞*』受賞 (2020年6月)

管理職への女性登用を積極的に推進

国内、海外事業所を問わず女性を積極的に採用し、
男性社員のみだった部署へ女性社員を配属するなど、
女性の能力開発や職域拡大に取り組むとともに、
仕事と育児の両立に向けた環境づくりにも取り組む

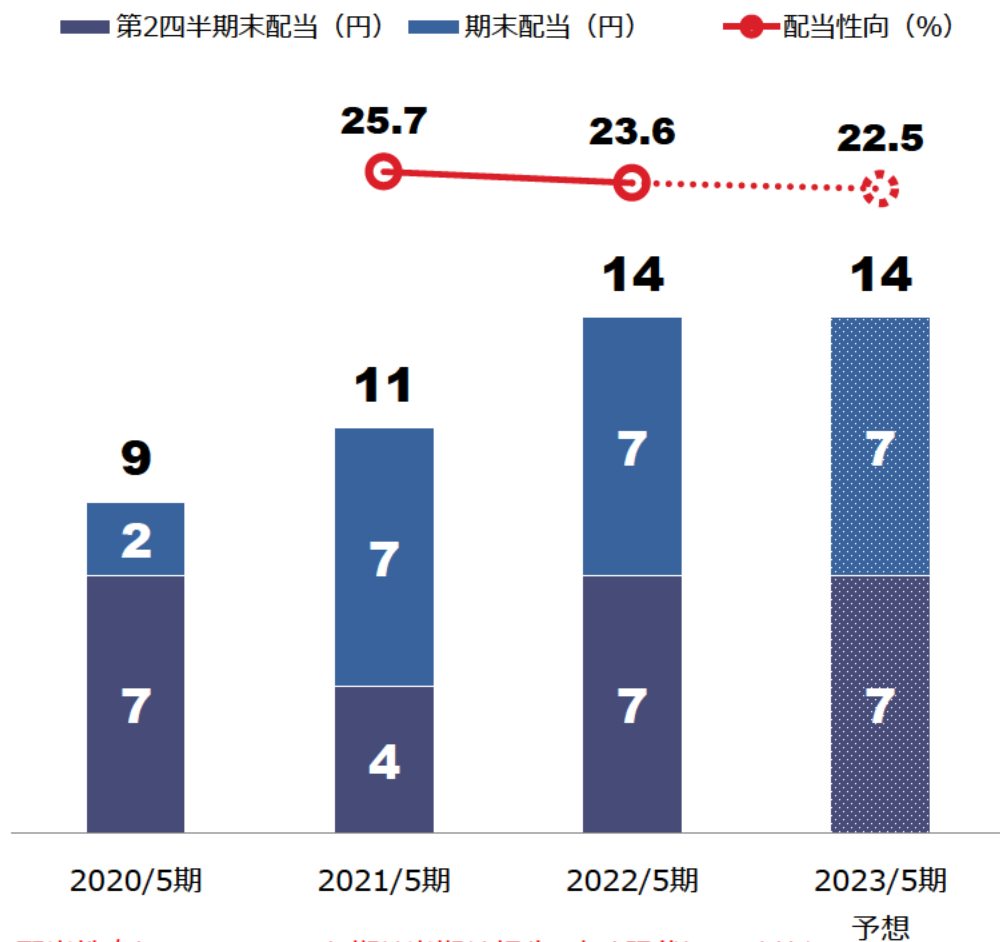
*本賞は、女性の登用や能力開発等に積極的で、
女性が生き生きと活躍している企業に知事賞を授与される



女性が働きやすい職場づくり



年間配当金の推移



配当基本方針

安定的な配当を継続していくと同時に、業績に応じ積極的に株主に還元

内部留保資金

競争力の維持・強化や経営基盤拡充のため、設備投資や開発活動に充当

※配当性向について、2020/5期は当期純損失のため記載していません



このプレゼンテーションで述べられている三光合成株式会社の業績予想、計画、事業展開等に関しましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき判断したものです。

マクロ経済や当社の関連する業界の動向、新たな技術の進展等によっては、大きく変化する可能性があります。

従いまして、実際の業績等が本プレゼンテーションと異なるリスクや不確実性がありますことをご了承下さい。また、大きな変更がある場合は、その都度発表していく所存です。